

事業概略書

事業名	ピアサポートを担う人材の活用を推進するための調査研究及びガイドライン作成のための研究
事業目的	日本における障害者のピアサポート活動は「障害者の権利に関する条約」の批准や、障害福祉サービスの改編の中で注目を集めており、障害福祉サービス事業所での雇用も進みつつある。その反面、専門職で構成された組織におけるピアサポーターの位置付けや雇用体制、人材育成等の具体的な課題が生じている。そこで、本研究においては、地域での生活支援を焦点に、グループホーム、地域移行支援等を実施している事業者におけるピアサポートの活用の現状とその効果を明らかにすることを目的とする。ついで、ピアサポートの活用を推進していくことを目的に、事業者向けのガイドラインの作成を行う。
事業概要	ピアサポート活用の実態を把握するために、地域移行支援事業所及び自立生活センター、全国手をつなぐ育成会連合会に調査協力を依頼し、本人（当事者）活動の実態を把握するために調査を実施した。さらに、病院や施設からの退院・退所、あるいは、家族からの自立をピアサポートを活用して実施している事業所を選定し、ヒアリング調査を行った。それらの結果を参照しながら、ピアサポートの活用を促進するための事業者向けガイドラインの作成した。
事業実施結果及び効果	量的調査の結果から、ピアサポーターは、退院・退所へのイメージの構築、利用者の不安・孤独の軽減、障害当事者の立場に立った発言などに期待がなされ、ロールモデルとしての役割を担っていることが示唆された。また、退院・退所に際する具体的な支援は同行や訪問が多く、アウトリーチ支援が必要とされていた。また、ヒアリングでは、ピアサポーターが当事者と専門家との橋渡しをする役割について触れられていた。また、地域で自立生活を送っていくための支援において、ピアサポーターと専門家（主に福祉サービス事業者）が協働し、それぞれの役割を果たしながら、バランスをとっていくことの重要性についても示唆が得られた。今後、さらに、ピアサポーターの特性に着目した調査や、チームや複数で動く際にピアサポーターに求められる役割や機能、その効果についての調査が求められる。ピアサポートの活用は今後ますます意味をもってくると思われ。その促進のためにガイドラインを作成したが、今後その普及にも努めていく予定である。
事業主体	郵便番号：170-0004 所在地：東京都豊島区北大塚 3-34-7 法人名：社会福祉法人 豊心会 電話番号/E-MAIL：03-3915-9051 /ji-housinkai@housinkai.or.jp

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。